

めん羊・山羊の放牧による畦畔等の雑草管理技術

畜産技術センター碓高原牧場

要旨

急傾斜地や狭い樹園地など管理困難な場所の下草刈りに高い効果を発揮するめん羊や山羊の放牧が、電気牧柵にプラスチックネットを組み合わせることにより、簡易で低コストに実施できる。また、鋼管製の移動式電牧支柱立てを用いると、アスファルトやコンクリート上でも電気牧柵を張ることができる。この放牧方法は簡単に移動でき場所を選ばないので、畦畔や遊休農地、樹園地、里山等の省力的な管理方法として広範囲に活用できる。

成果の概要

めん羊や山羊は、電気牧柵を容易に脱柵するが、背面にプラスチックネットを設置するとネットに触れている間に感電するため、脱柵できない。この方法は、従来の鉄製フェンス牧柵やつなぎ放牧よりはるかに適用範囲が広く、コストについても鉄製フェンス牧柵に比べ投資額で約3分の1、1年当たりの償却費でも約半額であり、省力的で安価な雑草管理方法である。(写真1、表1)

この方法を用い、夏期に30°の急傾斜地5aへめん羊2頭を35日間放牧したところ、裸地が0%から50%に増加する草刈り効果が確認できた。(図1、写真2)

自作可能な鋼管製の移動式電牧支柱立てを用いれば、コンクリート擁壁の上にも電牧柵を張ることができ、例えば、落差の大きい擁壁上の急傾斜地をめん山羊に管理させることができる。(写真3)

電牧を使用するので「高電圧危険」等の表示板を随所に設置する必要がある。



写真1 電気牧柵とプラスチックネットの組み合わせ

表1 牧柵設置資材費(1ha当たり)

牧柵の種類	資材名	耐用年数	資材費(円)		備考
			金額	1年当たり	
電気牧柵 + プラスチックネット	電牧機	8	61,600	7,700	
	グラスファイバー支柱	10	57,600	5,760	2.5m間隔で設置
	電線用クリップ	5	10,240	2,048	2個/支柱
	帯状電牧線(400m)	4	14,800	3,700	2段掛け
	獣害防止ネット(50m)	5	23,760	4,752	電牧線の外側に設置
	合計		168,000	23,960	
鉄製フェンス	亜鉛メッキ支柱	15	336,000	22,400	2.5m間隔で設置
	格子鉄線	8	172,800	21,600	高さ90cmのもの
	合計		508,800	44,000	

100m×100mの1ha:周囲の長さは400mとした。

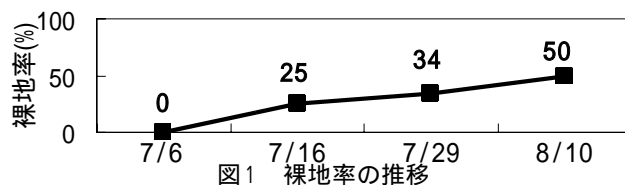


写真2 急傾斜地での放牧前後



写真3 コンクリート擁壁上に設置した移動式電牧支柱立て

(問合せ先: 0772-76-1121)